

〔派遣〕

派遣研究者 京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻 博士後期課程2年 吉井 和佳 1062106  
研究集会名 7th International Conference on Music Information Retrieval (ISMIR)

出張期間 平成18年10月8日 ~ 12日

開催場所 カナダ国 バンクーバー市

発表論文 ユーザ嗜好を隠れ変数とする確率モデルを用いた強制的かつコンテンツに基づくハイブリッド型音楽推薦手法  
( Hybrid Collaborative and Content-based Music Recommendation Using Probabilistic Model  
Latent User Preferences )

概 要

MIR (Music Information retrieval) に関する国際会議ISMIRは、今年で7回目の開催となり、注目度は年々増す一方で、現在では音楽情報科学関連の国際会議では、最大規模である。60件の論文と12件のポスター・デモ発表が採択され、参加者は150人程度であった。大学に籍を置くアカデミック畑の研究者だけでなく、西欧の音楽関連企業の研究者が多く参加しており、本会議は、産学連携研究を始める良いきっかけとなっている。

海外では音楽の定額制聞き放題サービスが登場し成長している。日本でのサービスは未だ登場していないが、少なくともMIR技術の点で優位性に立たなければならないと考えている。現在、協調フィルタリングに基づく音楽推薦システムは多くの商用サービスに利用されているが、未だユーザの評価のないCDは推薦できず、同じアーティストの楽曲ばかり推薦されることが多い。一方、音楽コンテンツの類似度に基づく音楽推薦システムは、上記の欠点を持たないが、自動記述技術の未熟や計算コストの問題から未だ実用化に至っていない。そこで我々は、「推薦精度の高さ」、「ユーザが未評価である楽曲も推薦可能」、「アーティストのバラエティの豊さ」の3条件に着目し、これらを同時に満たすため、ユーザの5段階評価スコアと楽曲から自動抽出した音響的特徴とを確率的に統合するモデルを用いて音楽推薦を行う手法を考案した。今回、この研究内容(標記論文タイトル)についてオーラルセッションで発表を行った。多くの研究者から非常に興味深く面白い研究内容・発表だという感想を頂けた。また、企業の研究者とも多数顔見知りになることができ、実際のサービス展開を行うために必要な要件に関しても有益な議論を行うことができた。